

過去ノ闘争批判

大阪市電氣局ヘノ共同闘争ノ機關トシテ局内團體、自助會、愛友會、大阪電氣労働ハ昭和三年首切規定撤廢ノ共同闘争ヲ機會ニ局内共同闘争委員會ヲ結成シ其後斷續的ニ維持シ今日ニ至ツタガ其間何等ノ闘争ガナサレテキナイ。

ソレハ結成當初ニ於テ何等明確ナル方針ヲ樹立セズ唯莫然タル集合化シ各組合ノ自主權ヲ犯サマル自由聯合形態デアリ然モ基本組織タル大衆組織ガ少シモ持タレテ居ナカツタ。

組合幹部ノクラブトピラ署名ノミノ存在ニ終リ余リニモ大衆ヨリ高ク浮ビ上ツテ居タ。斯ル大衆的基礎ノ上ニ立タザル頭ノミノ御都合的寄合組織ガ労働者ノ強力ナ闘争組織トナリ得ナイ事ハ余リニモ當然デアル。

之ハ過去當局ノ産業合理化強行ノ嵐ノ中ニ於テ大衆的ニバタロサレ來ツタ爲デアル。

今ヤ大衆ハ其體驗ヲ通ジ産業別戰線統一ヲ熾烈ニ要望シ自ラソノ舞臺ニ登場シ來ツタ。局闘委員會結成當初ニ於テ産業別統一ヘノ過渡的形態トシテノ認識モ持タレテキタガソレハ理論的認識ニ止リ何等實踐ニ移サレテキナカツタ。

然レ其産別統一タルヤ局内單一組合ノ結成タル誤謬ヲナシテキタスル誤謬ハ確固タル方針ト強力ナル指導ナキ局闘委員會ノ所産デアル。

局闘委員會ノ凡ユル誤謬ヲ清算シ大衆的基礎ニ依ル強力ナ全面的闘争ヲ通ジテ産業別統一ヘノ道ハ今ヤ吾々ノ前ニ輝シク開カレタ職場ヲ基礎トスル大衆的闘争組織、局闘同盟結成ヘ邁進、コレデアル。

四運 動 方 針

同盟ハ先ニ理論的認識ニ止リタル産別整理統一ヲ果敢ナル日常經濟闘争ニ依リ實踐的ニ闘ヒ取ル漸定的形態デアリ過去ノ局闘委員